

## C大腸がん41

対象疾患	大腸がん	レジメン名	Pani+CAP+L-OHP療法 (Pani+CAPOX療法)		
1コースの期間(休薬期間含む)	21日				
総コース数	制限なし				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	カペシタビン (CAP)	※備考欄参照	経口		day 1~14
2	生食100 mL (ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1
3	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
4	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~3 (Max day 2~4)
5	パニツムマブ (Pani)	6 mg/kg	点滴静注	60分	day 1
	生食100 mL	1 P ※備考欄参照			
6	オキサリプラチン (L-OHP)	130 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2時間	day 1
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	5%ブドウ糖注射液250 mL	1 P			
7	生食50 mL (フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
血管外漏出 リスク分類	Pani: 非炎症性 L-OHP: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 中等度 (CAP: 軽度 Pani: 最小度 L-OHP: 中等度)				
インラインフィルターの 要不要	Pani投与のため、0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを使用				
備考欄	<p>※Paniは、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量100 mLとなるように希釈する。但し、1000 mgを超える投与量となる場合は全量150 mLとなるように希釈する。</p> <p>※デキサメタゾン点滴静注の内3.3 mgは、L-OHPによる静脈炎予防のためL-OHPと混注する。</p> <p>※CAP投与量は以下の通りである (いずれも1日2回朝夕食後の分2投与) (C法)。</p> <p>BSA&lt;1.36 m<sup>2</sup>: 2400 mg/day、1.36≦BSA&lt;1.66 m<sup>2</sup>: 3000 mg/day、 1.66≦BSA&lt;1.96 m<sup>2</sup>: 3600 mg/day、1.96 m<sup>2</sup>≦BSA: 4200 mg/day</p>				